水循環の目指す姿（案）

【資料3】

「健全な水循環」 とは、人の活動と環境保全に果たす水の機能が適切に保たれた状態をいいます。

【検討に際してのキーワード】

水に関する安全・安心　自然とのバランスを保ちつつ水の恵みを享受　人と水とのつながり

危機的な渇水への対応
地域の特性と実情に応じて、危機的な渇水に対応することができる。

持続可能な水利用
良質な水の供給をはじめとして地下水を含めた様々な形でいつでも水の恵みを享受できる。

多面的機能の発揮
水源涵養機能をはじめとする森林や農地の多面的機能が持続的に発揮されている。

水に関する災害への対応
災害時にも人命・財産が守られ、被害を最小限に抑えることができる。

水環境と生態系の保全
流域特性に応じた水量・水質が保たれ、美しい水環境と生態系が守られている。

科学技術の振興
産官学による調査・研究、技術開発が行われ、その成果が健全な水循環の実現に活用される。

水インフラの適切な維持管理
地域において水インフラの適切な維持管理・更新、耐震化がなされている。

流域での連携
一人一人が水の大切さを理解し、様々な関係者が健全な水循環に向けて協力して積極的に関わっている。

人と水とのふれあい
身近な水辺空間や水文化を通じて、人が水の恵みを受けることができる。

国際連携と協力
我が国の優れた制度や技術が海外でも活用され、世界の水問題の解決に貢献できている。